

湧水 議会だより

6 月定例会

第23号 平成22年8月17日
発行

題字は吉松中学校3年生
くわはら ゆうな
桑原 優奈さん



きょうさくぶ
激特事業による永山狭窄部の工事状況



ゆうすいの花 ノハナショウブ

ノハナショウブはハナショウブの原種で、高さは50～80センチメートル、花は6月初旬から中旬にかけて開きます。花の色は、赤紫色が多いが、濃紫色の花も見られます。シベリア東部、朝鮮、日本に分布しますが、本町三日月池（長谷地区）が我が国の自生地南限です。
※昭和13年に国指定文化財天然記念物に指定されました。

一般会計補正予算等	2
陳情	4
議決一覧	5
一般質問	6
口蹄疫に関する意見書	12
第1回臨時議会	13

口蹄疫支援事業助成金

● 1,051万5,000円

畜産農家支援を行う口蹄疫支援事業助成金を見込みにより増額するものです。



セリ市再開を待つ子牛

旧吉松小学校校長住宅修繕等

● 141万5,000円



修繕対象住宅（昭和57年建築）

外国語指導助手（ALT）の新規配置に伴い、住宅を確保するため、旧吉松小学校校長住宅の修繕費等を計上するものです。

小学校修繕費

● 137万2,000円



安全対策対象天窗（栗野小学校）

県内小学校で発生した天窗からの転落事故を受け、栗野小学校及び吉松小学校の吹抜け、天窗からの転落防止を行うための修繕料を増額するものです。

町有財産購入

● 406万4,000円

土地開発基金で取得している吉松中学校隣接地を職員駐車場として整備するため、基金から買い取る町有財産購入費を計上するものです。



取得予定地全景

平成22年 第2回定例会

一般会計補正予算 4,123万9,000円可決



総額 63億8,771万円に

第2回定例会は6月17日招集され、6月30日までの14日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成21年度一般会計の繰越明許費繰越計算書等2件の報告後、口蹄疫に係る一般会計補正予算の専決処分3件について承認しました。

また、条例改正等2件を可決し、予算では、一般会計補正予算1件を可決しました。

陳情は3件のうち2件を採択、1件を継続審査とし、議員発議でこれらに係る意見書を可決しました。

さらに、議員発議で口蹄疫に係る支援対策を求める意見書も提出され、可決しました。

また、副町長の選任についての追加議案があり、同意しました。

一般質問では、議員6名が12項目について質問しました。

シルバーケアセンター 施設改修事業

● 485万1,000円



シルバーケアセンター

当施設をスポーツ少年団等の合宿施設として幅広い利用促進を図るため、改修に必要な許可申請手数料と設計監理委託料及び改修工事費を計上するものです。

予防接種

● 146万円

国が勧奨する3歳児を対象とした日本脳炎の初回接種にかかる予防接種医師報償費とワクチン購入費を計上するものです。





私の陳情書



30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

陳情者

湧水町川西 平谷 和文 氏

日本は、OECD（経済協力開発機構）諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。また、骨太方針2006では、一般公務員とは別に教育賃金を特出した縮減を図ることが盛り込まれている。さらに、GDP（国民総生産）に占める教育費の割合は、OECD諸国の中で下位から2番目となっており、また三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は引き下げられ、自治体の財政を圧迫していることから、2011年度政府の概算要求に向けて、3項目にわたる事項の実現に関する意見書を、国の関係機関に提出して頂きたいとするもの。

採 択

子どもたちが、全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるよう施策を講じる必要があり、陳情の主旨は理解できる。

※採択により、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、財務大臣、内閣官房長官へ意見書を提出。

住民の生活基盤を支える県土防災と建設業振興を求める陳情書

陳情者

県生活関連公共事業推進連絡会議湧水支部

湧水町田尾原 亀澤 住人 氏 他

県内の防災整備率は未だ3割に至らず、国・県とも防災予算を含む公共投資が削減され続けており、また高度成長期に集中して整備された社会資本の適切な維持管理と設備投資予算確保が必要である。また、公共投資と民間の設備や住宅投資の縮減により地元経済の一層の冷え込みや雇用の場所も喪失していることから、地元経済の振興と住民の安心安全を守るため、関係機関に働きかけて頂きたい。

採 択

現在まで公共事業が地元経済を支えてきた面があり、地元の経済の振興と雇用を守るという点において、陳情の主旨は理解できる。

※採択により、衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣へ意見書を提出。

こんなことが 決まりました

議案		提案理由等	結果
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について（平成21年度湧水町一般会計予算）	平成21年度湧水町一般会計補正予算の第7号及び第9号で議決された繰越明許費を平成22年度に繰り越したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告するもの。 （繰越した事業……30事業 12億5,652万円）	—
報告第2号	繰越計算書について（平成21年度湧水町水道事業会計予算）	平成21年度湧水町水道事業会計予算で定めた建設改良費において、土地区画整理事業道路改良工事の繰越に伴う工期延長のため、水道管布設工事220万5,000円を平成22年度に繰り越したので、地方公営企業法第26条第3項の規定により、報告するもの。	—
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度湧水町一般会計補正予算（専決第2号））	口蹄疫防疫に関する国への支援を要望する旅費と、牛、豚の出荷予定頭数に応じて助成する口蹄疫支援事業助成金及び防疫対策に必要な消毒用機械の借上料を増額計上するもの。 （1,178万円追加）	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度湧水町一般会計補正予算（専決第3号））	栗野IC出口において防疫対策を行うため、消毒マット設置に係る作業賃金と需用費及び消毒作業委託料を計上するもの。 （584万2,000円追加）	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度湧水町一般会計補正予算（専決第4号））	県が直接運営する鶴丸消毒ポイントに加え、町の自主消毒ポイントを町道原口楠辺線の宮崎県境に新たに設け防疫対策を行うため、県重点分野雇用創出事業による作業賃金を計上するもの。 （356万4,000円追加）	承認
議案第23号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について	公用車を日通商事株式会社福岡支店所有の吉松LPガス営業所のブロック塀に衝突させたため、日通商事株式会社 福岡支店 取締役支店長有川康夫氏と和解を成立させ、損害賠償の額を20万2,650円と定め、支払うことについて、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第24号	湧水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正され、本年6月30日から施行されることに伴い、関係条例の所要の改正をしようとするもの。	原案可決
議案第25号	平成22年度湧水町一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,123万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億8,771万円とするもの。	原案可決
陳情第3号	全天候型ゲートボール場増設についての陳情書	シルバーケアセンター敷地にある全天候型ゲートボール場は2面であることから、これを増設し4面として頂きたい。	継続審査
陳情第4号	30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について	P 4 参照	採択
陳情第5号	住民の生活基盤を支える県土防災と建設業振興を求める陳情書	P 4 参照	採択
同意第3号	副町長の選任について	湧水町副町長に、新たに、総務課長（当時）の宮園昭一氏を、選任したいため、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を求め、選任しようとするもの。	同意
発議第4号	口蹄疫に対する総合的な支援対策の早期実施を求める意見書	P 13参照	原案可決
発議第5号	30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	P 4 参照	原案可決
発議第6号	住民の生活基盤を支える県土防災と建設業振興を求める意見書	P 4 参照	原案可決

を 問 う

ここが
聞きたい！

議員6名

上水流 功 議員



通学路の改善を急げ

必要性を認め全体的見地から検討します

上水流

町道有次三日月線は栗野中学校の通

学路でもあるが、路面の
状態が悪く、降雨時やそ
の直後は水溜りが多く発
生するため、通学生や一
般通行人及び通行車両等
にとって安心安全な町道
とは決して言えない状況
である。早急に改善する
考えはないか伺う。

町長

町内には、舗装補
修等の整備を必要
とする箇所が多数あり、
その整備が追いつかない
のが現状であります。が、
改善の必要性は認めます。
全体的整備計画を基に総
合的に検討致します。

家畜防疫施策

上水流

家畜の疫病発生危
機管理の基本につ
いて、平常時、緊急時、



改善を必要とする町道（栗野幼稚園付近）

収束時それぞれ、今後と
のような具体的施策をと
られる考えか伺う。

町長

平常時は、発生の
予防と発症時を想
定した予行演習、担当者

研修、農家個々の防疫認
識の向上、消毒の徹底を
促進します。

緊急時は、初動対応の
的確性、素早さが求めら
れるため、早い時点での
対策本部の設置と現状に
即した対策を取ることが
必要と考えます。その対
策は、畜産農家を含む町
民及び関係者が一体化し
た確実な防疫対策等の実
行、早急なまん延防止の
殺処分、埋却処分後の消
毒等の完了、事前の埋却
地の確保、さらにはこれ
らを一連付けての手引書
作成の必要があると考え
ています。

収束時は、防疫対策の実
践及び事例からみえてく
る課題の検証を行い、今
後の対応に活かして参り
ます。



福島 勝男 議員

質問及び答弁の内容は質問者自らが要約したもので、未修正のまま掲載しています。

町 政

本町の口蹄疫対策の検証を

町の対策は、町できちんとやります



えびの市、湧水町事務レベル協議状況

福島

宮崎県で発生した口蹄疫は未だ終息せず、畜産農家の心労に對し、今しばらくふんばってほしいと願うばかりである。これに対する本町の素早い取り組みやえびの市との連携した対応により、えびの地域でのまん延を最小限に食い止められた事は高く評価されるものである。本町とえびの市の対応を検証し今後国や県において策定されるであろう口蹄疫対策のマニュアルに活かすべきと思うが、町長の見解を伺う。

町長

本町は口蹄疫発生
の報を受けた4月21日に対策本部を立ち上げ対応しました。4月28日えびの市での発生を受け、岡元地区及び鶴丸地区に消毒ポイントを設け全力で防疫に努めてまいりました。防疫体制等に対する県や他市の取り組みに温度差を感じた事から、我が町の対策は、我が町できちんとやるしかないとの思いで取り組んでいます。えびの市との連携で、より効果的な対応が出来たと思っております。また、取り組みの記録は整理されています。

町長

口蹄疫の対策に追われ、福祉3課の配置替等が未だに実現出来ておりません。吉松地区においては住民福祉課の機能の一部を保健センターに移し、保健師の配置と併せ、吉松地区の福祉の拠点作りを目指します。今即戦力となり得る保健師を探しております。なかなか人材が見当たりにません。心あたりの人材があれば教えて頂きたいと思っています。

福祉行政

福島

過去の一般質問において栗野地区への保健師集中配置は、福祉行政において地域間格差が生じる旨を指摘し、是正策を質したところ、吉松地区に2名の保健師の配置を約束されたにもかかわらず、未だに配置



境田 公明 議員

口蹄疫対策で副町長不在の影響と必要性は

副町長を含めた執行体制を検討しています

境田 口蹄疫対策で副町長不在による影響と、その必要性について伺う。

町長 総務課長以下、関係課長に対応させていただきますが、支障がないとは言えません。口蹄疫対策を機に現在副町長を含めた町の執行体制を検討しています。

境田 えびの市と共同で今回の口蹄疫に対する両市町の取り組みや課題を県・国に対し、意見書を提出する考えはないか伺う。

町長 現在での課題を含め要望等を整理し、その都度国・県にお願いしているところです。今後、えびの市と連携し適切な機会を捉え、提言等

を含めた形で対応したいと考えています。

小中一貫教育

境田 吉松中学校校舎の老朽化に伴い、教育振興等の面で、吉松校区の小中一貫教育を検討する考えはないか伺う。

町長 本町において、学校を新たな場所に建て替えたり、小中学校どちらかの施設内に統合したりしての一貫教育を検討する考えはありません。

教育長 小中一貫教育そのものは難しいですが、小学校と中学校の交流はしております。今後さらに、義務教育として一貫性のある教育を推進するよう

各学校を指導します。また、吉松中学校校舎の耐震性は問題ありませんが、屋内運動場は、本年度耐震補強工事を実施します。グラウンド整備は、平成26年度までに整備する計画です。



整備が待たれる吉松中学校グラウンド

子ども手当の窓口支給

境田 保育料などの未納金の滞納者により子ども手当の窓口における現金支給に同意を頂き、滞納分を納めるよう求める考えはないか伺う。

町長 現在受給者の同意を得られている未納金は、窓口支給によりお渡しし、その後、本人によって保育料等に支払いしてもらっています。今後も相談を行っていきます。



綾織 まち子 議員

口蹄疫の今後の防疫計画は

収束の目処がつくまで徹底した防疫対策が必要と考えます

綾織 6月4日時点で町内の移動及び搬出制限区域が解除されたが、宮崎県内での発生は未だ衰えず、今後も徹底した消毒作業が必要だと感じるが、今後の防疫計画について伺う。

町長 6月9日新たに都市において疑似患者が確認され感染が広がる傾向にあり、予断を許さない状況にあると認識しております。このような状況の中、徹底した防疫対策が必要と考えますので、収束の目処がつくまでは車両等の消毒ポイントの増設を行いながら的確な対応と、畜産農家個々の自主防疫の徹底を指導して参りたいと思います。

綾織 口蹄疫が発生してすぐに対策本部を立ち上げ、えびの市との連携により、まん延を防止できたが、その実行記録を畜産農家の手本とし

て製本化する考えはないか伺う。

町長 徹底した記録を行い、今後の参考に

する為、他の市町村はどう対応していたのか比較検討し、きちんとした形で残したいと思います。

綾織 口蹄疫に感染した野生のシカ、イノシシ等が本町に現れるのではないかと危ぶまれるが、有害鳥獣の捕獲後、口蹄疫の検査も同時に行う考えはないか伺う。

町長 感染が広がる中、偶蹄類のシカ、イノシシへの感染があってもおかしくない状況にあり、充分に気をつける必要があります。口蹄疫は農研機構動物衛生研究所しか検査できない状況にあり、猟友会で捕獲した鳥獣の観察をし、症状等がある場合、始良家畜保健所の判断により検体を農研機構動物衛生研究所

に送り検査することとなります。なお、症状のない有害の鳥獣の捕獲と同時のウィルス検査はできません。

綾織 広域な範囲での取り組みが大事であり、熊本・宮崎・鹿児島三県での同時駆除が必要

だと思うが、町長の見解を伺う。

町長 有害鳥獣駆除だけでなく処理施設等についても九州全体の問題として取り組む方法があるのではないかと考えております。

町長 有害鳥獣駆除だけでなく処理施設等についても九州全体の問題として取り組む方法があるのではないかと考えております。



車両への防疫作業状況（鶴丸消毒ポイント）



西牟田 徹也 議員

学校施設の危機管理対策は

全職員による点検を実施しています

西牟田

本町の学校施設の安全管理対策は万全であるか。また施設の点検等はどうのように講じられているか伺う。

町長

学校施設は子ども達の安全確保はもとより、災害時等の緊急的避難施設となることから町民の大事な施設と位置づけております。又天窓の転落防止ネットを設置して安全確保に努めます。

教育長

全職員による園内・校内等の安全点検簿を用いて、月ごとに点検を実施しています。又、全職員の研修指導を強化し安全管理に努めます。



転落防止が施される天窓

西牟田

壁等の剥れによる落下物等の危険性のある校舎等はないか。

町長

危険と思う箇所は進入柵等で防止策を講じています。又、幸田小については、現在、改築の方向性で検討しています。

西牟田

プールの安全管理は万全か。又、排水口の防護ネットの状態は万全か。

教育長

点検箇所項目を定め定期的に点検しており、防護ネットも万全で機能を果たしております。

子育て支援対策

西牟田

安心安全に子育てできる環境対策として細菌性髄膜炎予防接種四回分を助成出来ないか伺う。

町長

当接種は、生後二ヶ月から五歳未満までに計四回のワクチンを、自己責任に基づき接種する任意の予防接種に該当しています。安全性や費用対効果などを分析し、動向を見ながら検討してまいります。



篠原 三千人 議員

町内の経済と産業の自立活性化による交流人口の増加策は 公的施設と民間施設の目的を整理し、連携を図ります

篠原 町内の経済と産業の自立活性化に交流人口の増加策として、

グリーン・ツーリズムの受け皿作りと町内イベント等、商工観光課及び観光協会を中心に進められ期待されるが、観光の産業化を図るため公的観光型施設と民間施設や新規参入者などの連携や支援をどのように進めて行くのか伺う。

町長 農村体験を含め、観光素材を発掘、整理しネットワーク化を図る必要性はあると思っています。今後は各種団体との連携を図り、語り部の養成や人材の発掘育成に努め、公的施設や民間施設の特徴や目的を整理し、連携を図りたいと思います。

篠原 行政組織の再編、プロジェクト方式の強化の考えを伺う。

町長 現在庁内において、町組織再編実施計画（案）を策定しています。今後地域審議会や行政改革推進委員会等の意見を聞きながら、取り組みを行います。なお、イベントや今回の口蹄疫対策など課を越えた連携は進んでいます。

教育長 教育委員会においても特別教育支援の部分について保健師との合同研修会の開催や、食育支援の一環として農林課が窓口となり個人や加工団体の支援、さらには社会教育団体の主催する行事へも保健衛生課と連携し取り組んでおります。

篠原 激特事業完了後の避難対策についての方角性について伺う。

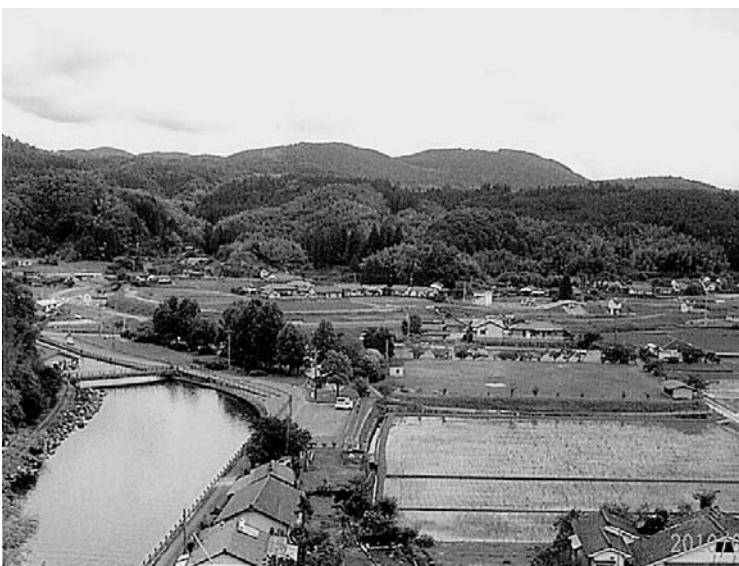
町長 総合的な冠水被害軽減事業の地域協議会を設立し、避難誘導路や避難場所等を含めた

検討を行い、23年度以降に国交省に申請、認定を受け、事業を実施することになります。

篠原 地域の高齢化が進むなか、水の里構想の再開はいつ頃予定されているのか伺う。

町長 平成18年の一般質問で阿波井堰の工事完成まで凍結すべきと

の質問がなされ、凍結のままです。工事完成は平成27年度の予定でありますので、激特事業や冠水被害軽減対策事業と併せ、状況を見ながら検討します。なお、合併前の水の里構想は再検討する必要はありますが、先の一般質問で答弁したとおり大幅な変更と縮小になると考えています。



水の里構想の再開は（川添地区）

本町議会は、今回の口蹄疫に関し、口蹄疫発生地への支援にとどまらず、本町のような県境の町の農家等への経営支援や本町の口蹄疫まん延防止対策に要した経費を全額補てんする財政支援措置、さらには法の見直しを求めることなど7項目にわたる下記意見書を議員発議で可決し、国会及び政府に対し、措置を講じられるよう強く要請しました。

口蹄疫に対する総合的な支援対策の早期実施を求める意見書

平成22年4月20日に宮崎県東部で確認された口蹄疫は、急速に感染が拡大し、4月28日、宮崎県えびの市で、また、6月9日には都城市でも確認された。

えびの市に隣接する本町では、10年前に宮崎県高岡町で発生した口蹄疫に対する取り組みを基に、初動対応の重要性の認識のもと、4月21日に、湧水町口蹄疫対策本部を設置し、畜産関係者をはじめ、全住民に注意を促すとともに、消毒剤の無料配布など対応を始めたが、4月28日以降は、県境の町として鹿児島県への侵入を阻止するため、直ちに町独自による任意消毒ポイントを設置するなど、第1例目確認から2ヶ月が経過した現在においても、24時間体制で防疫活動を行っている。

この間、畜産農家においては、防疫対策はもとより、5月から家畜セリ市が延期され、出荷もできず飼育管理費が日増しに増加しており、更に感染の恐怖、セリ市再開後の価格低下の懸念などその心労は限界に達している。

また、畜産農家に限らず、家畜の移動及び搬出制限区域の措置による一次産業への影響や、感染拡大防止のため、各種イベントの中止、住民の外出の自粛等により、商工業にも多大な影響が及んでいる。

このため、畜産農家はもとより、口蹄疫により影響を受けた産業等に対し手厚い支援策を講じることが強く求められる。

よって、国会及び政府におかれては、口蹄疫発生地の支援策にとどまらず、口蹄疫の侵入防止に必死に取り組む本町のような県境の町の状況をご理解頂き、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 本町では、口蹄疫の侵入を水際で阻止するため、隣接する宮崎県えびの市と連携し、警察や各関係団体とともに消毒ポイント設置など、防疫対策を全力で実施しているが、国におかれても、口蹄疫が他地域にまん延しないよう、消毒の徹底や殺処分家畜の埋却地の確保など万全の防疫対策を講じること。
- 2 殺処分対象家畜のみならず、家畜市場が休止していることにより影響を受けている全ての農家に対して、飼育期間延長に伴う飼料費の助成や無利子の融資制度などの経営支援措置を講じること。
- 3 防疫を始め、畜産農家の経営支援や家畜セリ市再開に向けた支援及び県や市町村、関係団体が自主的に実施した口蹄疫のまん延防止対策について、全額補てんする財政支援措置を講じること。
- 4 今回の口蹄疫の感染源と侵入経路を速やかに特定し、今後の発生防止対策を確立すること。
- 5 口蹄疫に係る的確な情報を広く国民、食品流通業界等へ提供して、風評被害防止に努めること。
- 6 猪、鹿など野生動物にかかわる口蹄疫発生状況の監視、その他野生動物による口蹄疫まん延防止のために必要な支援を行うこと。
- 7 家畜伝染病予防法等関連法の見直しを行い対応の充実を図るため、次の3点を考慮すること。
 - (1) 擬似患畜発生県と隣接県との連携措置を講じること。
 - (2) 県境に接する市町村間の連携措置を講じること。
 - (3) 防疫対策に関する市町村長の役割を明確化すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月30日

鹿児島県湧水町議会

平成22年 第1回臨時会

第1回臨時会は5月11日招集され、1日間の会期で開催されました。

今臨時会では、一般会計、水道事業会計の補正予算がそれぞれ上程され、原案のとおり可決しました。

また法改正に伴う税条例等改正の専決処分2件、口蹄疫防疫に係る一般会計補正予算の専決処分1件を承認しました。

また、教育委員、固定資産評価員の選任等2件についても同意しました。

こんなことが 決まりました

議案		提案理由等	結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(湧水町税条例の一部を改正する条例の制定について)	地方税法等の一部を改正する法律が平成22年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、所要の改正を行ったもの。	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(湧水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	同上	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成22年度湧水町一般会計補正予算(専決第1号))	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,352万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億980万円とするもの。	承認
同意第1号	教育委員会委員の任命について	湧水町幸田長岡耕治氏を教育委員会委員に任命したいため議会の同意を求めようとするもの。	同意
同意第2号	固定資産評価員の選任について	4月の人事異動により現職の税務課長を選任しようとするもの。	同意
議案第21号	平成22年度湧水町一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,548万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億2,528万5,000円とするもの。	原案可決
議案第22号	平成22年度湧水町水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出予算の既決予定額に68万1,000円を追加し、収益的支出予算総額を1億8,410万7,000円とするもの。	原案可決



湧水町議会の動静（平成22年4月～6月）

4月	1日	木	・辞令交付式（議長） ・勝栗神社例祭（議長）
	2日	金	・町グラウンド・ゴルフ協会総会（議長）
	3日	土	・町ゲートボール協会総会（議長） ・円乗寺保育園入園・進級式（篠原） ・丸池湧水湧っくわくDay（全議員） ・北方地区総代会（議長） ・湯ったり館休憩施設落成式（全議員） ・轟地区定期総会（橋口）
	4日	日	・長谷自治会畜産祭（綾織、山口） ・小屋敷自治会敬老会（議長）
	6日	火	・町老人クラブ連合会総会（議長） ・町内小学校入学式（全議員） ・町内中学校入学式（全議員）
	7日	水	・町内幼稚園入園式（全議員） ・JAあいら年金利用者友の会栗野支部総会（議長） ・広報調査特別委員会
	8日	木	・馬頭観世音祭（全議員） ・町たばこ振興会総会（議長）
	9日	金	・JAあいら年金利用者友の会栗野支部総会（副議長） ・町酪農部会設立総会（議長）
	12日	月	・みのり入園式（西牟田）
	14日	水	・広報調査特別委員会 ・環霧島会議監査（議長）・全員協議会
	15日	木	・自治会長会（境田、福島、副議長、議長） ・米永地区総会（副議長）
	16日	金	・転入教職員歓迎会（全議員）
	18日	日	・くりの高原マラソン（全議員） ・暴力追放霧島牧園大会（境田、上水流、宮里、西牟田、篠原、橋口、議長）
	19日	月	・郡春季畜産共進会（全議員）
	20日	火	・町自衛隊協力会理事会（議長）
	21日	水	・広報調査特別委員会
	22日	木	・町野菜振興会総会（議長） ・町身体障害者福祉協議会定期総会（議長）
	23日	金	・JAあいら湧水町水稻部会総会（議長） ・竹中池有機湧水生産組合総会（議長）
	24日	土	・あいら農協利用者年金友の会吉松支部総会（福島） ・福岡栗野会（議長）
	26日	月	・県政説明会（議長）
5月	10日	月	・議会運営委員会 ・県議長会選出理事地区割協議（議長）
	11日	火	・全員協議会 ・平成22年第1回湧水町議会臨時会 ・水害対策調査特別委員会
	12日	水	・口蹄疫に関する県知事との意見交換会（議長）
	13日	木	・県議長会臨時総会（議長）
	14日	金	・町自衛隊協力会総代会（議長）
	16日	日	・関西栗野会総会（副議長） ※17日まで
	17日	月	・全国議長会議・副議長研修会（議長） ※19日まで ・口蹄疫消毒（全議員） ※6月12日まで
	20日	木	・NPO法人ワークショップくりのの実の会定期総会（副議長） ・町手をつなぐ育成会総会（副議長）
	21日	金	・町社会福祉協議会評議員会（副議長） ・商工会総会（境田、福島、副議長）
	25日	火	・たばこ乾燥火入れ式（議長）
	26日	水	・町土地開発公社理事会（境田、福島、副議長、議長）
	28日	金	・栗野病院30周年記念式典（全議員）
6月	1日	火	・町観光協会総会（議長）
	2日	水	・にぎり防止総会（境田）
	6日	日	・中部栗野会総会（議長） ※7日まで
	9日	水	・議会運営委員会
	15日	火	・議会運営委員会
	17日	木	・全員協議会 ・平成22年第2回湧水町議会定例会
	18日	金	・平成22年第2回湧水町議会定例会
	20日	日	・関東地区湧水会（議長） ※21日まで
	22日	火	・全員協議会
	24日	木	・栗野中学校屋内運動場改築工事安全祈願祭（境田、福島、副議長、議長）
	28日	月	・全員協議会 ・議会運営委員会
	30日	水	・全員協議会 ・平成22年第2回湧水町議会定例会最終本会議 ・広報調査特別委員会 ・県防衛協会監査（議長）

傍聴にお越しく下さい。

次の定例会は9月中旬予定

編集後記

4月20日宮崎県において口蹄疫の疑似患者1例目が確認され、4月28日えびの市でも確認されました。感染力の非常に強いウイルス性家畜伝染病の防疫に対する体制が行政を中心に徹底して取り組まれ、5月の第1回臨時会・6月の第2回定例会では、特に口蹄疫対策について、活発な質疑・答弁がなされました。

さらに、本町は県境の町として鹿児島県への侵入を水際で阻止するため、24時間体制で防疫活動を行ってきており、国は口蹄疫発生地への支援策にとどまらず、本町のような県境の町の状況を理解して頂き、畜産農家等はもちろん、影響を受ける他産業への手厚い支援策、更には、法の見直しを行い、対応の充実を図って頂くため、7項目にわたる事項の早期実施を求める意見書を議員発議で可決し、国会及び政府に提出しました。

町内の各種イベント等も中止となりましたが、この議会日より発行される頃には、口蹄疫が終息していることを願っております。

議会広報調査特別委員会

委員長 西牟田徹也
副委員長 宮里 廣昭
委員 池上 滝一
同 上水流 功
同 山口 忠人
同 橋口 昌博